

J-STAGE 類似性チェックサービス FAQ

2023年9月29日改訂

国立研究開発法人科学技術振興機構

1. 利用申請誌の事前確認

Q1： 資料コード、DOIプレフィックス、DOI登録機関(RA)等の確認方法について

A1： J-STAGE 類似性チェックサービスの申請には、事前に利用申請誌の記事に付与されている DOI について、J-STAGE をランディングページとするか、資料コード、プレフィックス、DOI 登録機関 (RA)、を確認する必要があります。

(1) J-STAGE をランディングページとするか

J-STAGE で公開している最新巻号の記事に表記されている DOI をクリックし、J-STAGE の書誌ページが表示されたら、その DOI は、J-STAGE をランディングページとするものです。

(2) 資料コード

資料コードとは、DOI から以下のハイライトされた部分をいいます。

例： <https://doi.org/10.1241/johokanri.60.906>

(3) プレフィックス

資料コードとは、DOI から以下のハイライトされた部分をいいます。

例： <https://doi.org/10.1241/johokanri.60.906>

(4) DOI 登録機関

ブラウザのアドレスバーに(3)で確認したプレフィックスを含む以下の URL を直接入力します。

例： <https://doi.org/doiRA/10.XXXXX>

(10.XXXXX の箇所を(3)で確認したプレフィックスにします)

表示された内容によって使用する申請書が異なります。

・「RA": "JaLC"」と表示された場合

そのプレフィックスを含む DOI は JaLC DOI ですので J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) 申請書で申請してください。

- ・「"RA": " Crossref "」と表示された場合

そのプレフィックスを含む DOI は Crossref DOI ですので J-STAGE Similarity Check 利用申請書で申請してください。

2. 利用申請について

Q2.1 : Crossref DOI の刊行物のチェックに J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) を利用できますか。

その逆に、JaLC DOI の刊行物のチェックに J-STAGE Similarity Check を利用できますか。

A2.1 : 利用できません。

J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) の出自は、JaLC による JaLC 正会員向けオープンサービスです。従いまして、JaLC DOI が付与されない刊行物 (Crossref DOI が付与される刊行物や、DOI の無い刊行物) で J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) は利用できません。

一方、J-STAGE Similarity Check も同様に、その出自は Crossref による Crossref 正会員向けオープンサービスのため、Crossref DOI が付与されない刊行物 (JaLC DOI が付与される刊行物や、DOI の無い刊行物) で J-STAGE Similarity Check は利用できません。

Q2.2 : 当学会では、英文誌には Crossref DOI を、和文誌には JaLC DOI を付与して J-STAGE で公開しています。英文誌と和文誌の両方で J-STAGE 類似性チェックサービスを利用する場合、どのように申請すればいいですか。

A2.2 : Crossref DOI を付与する英文誌は J-STAGE Similarity Check 利用申請書で、JaLC DOI を付与する和文誌は J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) 利用申請書で利用を申請してください。申請が承認された後、英文誌と和文誌で個別にアカウントが発行されます。Crossref DOI が付与された英文誌では J-STAGE Similarity Check のアカウントを、JaLC DOI が付与された和文誌では J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) のアカウントを利用してください。

Q2.3 : 当学会では JaLC DOI (Crossref DOI) で複数の刊行物を J-STAGE から公開していて、その全ての刊行物で J-STAGE 類似性チェックサービスの利用を考えています。

利用申請書はどのように作成すれば良いですか。

A2.3 : アカウントがいくつ必要かご検討下さい。利用申請書は 1 アカウントにつき 1 通必要です。

複数の刊行物で 1 つのアカウントを共有する場合

- ・利用申請書に利用する複数の刊行物名を記入し申請してください。1 アカウントで同時に 2 人以上がアクセスすることはできません。
- ・利用料は複数の刊行物での利用をまとめて 1 通の請求書で請求させていただきます。

刊行物毎にアカウント発行を希望する場合

- ・刊行物毎に利用申請書を作成し申請してください（利用申請書毎に他の利用申請書と重複しないEメールアドレスが1つずつ必要です）。
- ・利用料はアカウント毎に請求させていただきます。

3. J-STAGE 類似性チェックサービスを使い始めて...

Q3.1： 利用申請書に記載しなかった刊行物で J-STAGE 類似性チェックサービスを利用できますか。

A3.1： 利用できません。別途、新たな刊行物で利用申請してください。

既に利用が承認された刊行物と同じアカウントに新たな刊行物を追加する場合は、既に利用が承認された刊行物で提出した利用申請書に新たな刊行物を追加して再度提出してください（DOI 登録機関が異なる場合を除きます）。

Q3.2： 査読者にも J-STAGE 類似性チェックサービスを利用してもらうためにアカウント（ID/パスワードのセット）を追加して発行できますか。

A3.2： 原則として 1 誌につき 1 アカウントを発行しますが、どうしても追加アカウントが必要な場合には J-STAGE センターにご相談下さい。

- ・追加アカウントのお申し込みは、1 アカウント毎に他と重複しない E メールアドレス 1 つを必ずご用意いただき、必要なアカウント数だけ利用申請書をご提出ください。
ただし必ずしもご希望に添えるとは限りません。
- ・通常、J-STAGE 類似性チェックサービスをご利用される方は事務局および編集委員が想定されています。それ以外（例えば査読者等）に利用を広げる場合には、利用申請書に記載した利用申請誌に投稿された論文の査読以外に J-STAGE 類似性チェックサービスを利用しないこと等、厳重にアカウントの管理を行っていただく必要がありますが、実際には大変難しいと思われれます。
- ・なお、利用機関に発行された全てのアカウントで発生した利用料金は、理由のいかんを問わず、そのアカウントを管理する利用機関にその全額をお支払いいただきます。
また問題が発生した場合には全てそのアカウントを管理する利用機関に責任を負っていただきますのでご了承下さい。

Q3.3： J-STAGE 類似性チェックサービスにかけた論文を著者が修正しました。その修正版の論文を改めて J-STAGE 類似性チェックサービスにかけた場合、利用料はかかりますか。論文のタイトルは前回と同じです。

A3.3： 修正版の論文を改めて J-STAGE 類似性チェックサービスにかけた場合には、論文タイトルが同じでも新しい論文とみなされるため、利用 1 回分の利用料が追加課金されます。ただし既にチェック済みの修正前の論文の実行結果を再表示する場合は追加課金されません。

Q3.4 : 類似率が何パーセント以上だと不正論文といえるのでしょうか。

A3.4 : 類似率の数値だけで、不正論文であるかどうかの判断はできません。また、分野や刊行物の特性などによっても目安となる数値は異なります。全体の類似率が低くても、特定の論文と非常に高い一致率を示す場合や、逆に全体の類似率が高いものの特に不正が見当たらない場合等、様々なケースがあります。初めのうちは全ての結果をある程度精査いただき、J-STAGE 類似性チェックサービスを利用する刊行物の傾向をつかんでいただくことが重要です。不正の有無等は、最終的には専門家の判断が必要です。

Q3.5 : iThenticate の具体的な利用方法について知りたいです。

A3.5 : iThenticate の利用方法は、Turnitin 社の Web サイトで確認することができます。

- ・ご利用の iThenticate が、J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) の場合
iThenticate 使い方マニュアル (ユーザー向け) (PDF マニュアル・動画) (日本語)
<https://www.turnitin.com/ja/products/ithenticate/instruction-manuals-users>
(PDF のダウンロードには、Turnitin 社への個人情報の提供が必要です。)
iThenticate ユーザーガイド (英語)
<https://help.turnitin.com/ithenticate/ithenticate-user/ithenticate-user.htm>

本サービスで提供される iThenticate の仕様、具体的な利用方法、表示、その他技術的な内容等に関しては、直接、iThenticate サポートチーム (日本語対応)

< ithsupport@ithenticate.com > までお問い合わせ下さい。

その際 JST は、質問および回答内容の確認・検証、翻訳などを一切行いません。

- ・ご利用の iThenticate が、J-STAGE Similarity Check の場合
Using Crossref Similarity Check の Web サイトをご確認ください。
<https://help.turnitin.com/crossref-similarity-check/user.htm>

本サービスで提供される iThenticate の仕様、具体的な利用方法、表示、その他技術的な内容等に関しては、以下の問い合わせフォーム「Submit a request」から Crossref にお問い合わせ下さい。(英語のみ)

https://support.crossref.org/hc/en-us/requests/new?ticket_form_id=360001642691

その際 JST は、質問および回答内容の確認・検証、翻訳などを一切行いません。

4. 登録した情報を変更したい

Q4.1 : ログイン用のパスワードを変更したいのですが。

A4.1 : ・ J-STAGE 類似性チェックサービス (JaLC DOI 版) の場合

J-STAGE 類似性チェックサービス(JaLC DOI 版)利用案内の「別紙3」アカウント設定後のパスワード変更方法をご確認ください。

・ J-STAGE Similarity Check の場合

iThenticate のシステムにログイン後、「AccountInfo」タブを選択し、「Current Password」に現在のパスワードを、「Change Password」欄および「Confirm Password」欄に新しいパスワードを入力してください。

この際、FirstName/LastName は絶対に変更しないで下さい。

入力内容をよく確認してから「Update Profile」ボタンを押してください。

「AccountInfo」タブ下のスペースに「Account info updated」が表示されたら作業終了です。

Q4.2 : ログイン用の E メールアドレスを変更したいのですが。

A4.2 : J-STAGE センター< center@jstage.jst.go.jp >までお問い合わせください。

Q4.3 : 連絡先メールアドレス、事務連絡担当者を変更したいのですが。

A4.3 : J-STAGE センター< center@jstage.jst.go.jp >までお問い合わせください。

Q4.4 : 利用料の請求書の宛名、送付先を変更したいのですが。

A4.4 : J-STAGE センター< center@jstage.jst.go.jp >までお問い合わせください。